

令和6年度における「ののいちデジタル田園都市構想総合戦略」の推進状況・総括について

資料 2

基本戦略1 しごとを創る～野々市らしい産業の創出～

【施策 1－1】 次代を担う 産業の創出		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標 (KPI) の評価	施策 1－1 の評価 目標をおおむね達成	
	【重要業績評価指標 (KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度			
	起業・創業相談件数（累計）	—	428件	250件			目標を達成または大幅に上回る
	産学連携事業支援件数（累計）	—	0件	3件			目標との差が見られ、 改善の検討が必要
	本社機能、研究機関の移転数（累計）	—	3件	2件			目標を達成または大幅に上回る
【施策 1－2】 地域産業の 再生と強化		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標 (KPI) の評価	施策 1－2 の評価 目標をおおむね達成	
	【重要業績評価指標 (KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度			
	野々市ブランド認定品数	3品目	18品目	9品目			目標を達成または大幅に上回る
	滞在人口（平日） （休日）	36,538人（平日） 45,679人（休日）	—	39,000人（平日） 48,000人（休日）			目標をおおむね達成
	生産性を向上する先端設備等の導入支援件数（累計）	—	35件	15件			目標を達成または大幅に上回る
基本戦略 1 しごとを創る ～野々市らしい産業 の創出～	施策 1－1 の評価 施策 1－2 の評価					基本戦略 1 の評価 目標をおおむね達成	
	目標をおおむね達成 目標をおおむね達成						
		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標 (KPI) の評価		
	【重要業績評価指標 (KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度			
	市の創業支援に基づく起業者数（累計）	—	200人	150人			目標を達成または大幅に上回る
	法人数（法人市民税納税義務者数）	1,618社	1,746社	1,650社			目標を達成または大幅に上回る
	従業者数（事業所単位）《経済センサス》	24,167人	26,900人	25,000人			目標を達成または大幅に上回る
	付加価値額（企業単位）《経済センサス》	77,498百万円	90,147百万円	80,000百万円	目標を達成または大幅に上回る		
	基本戦略 1 令和 2 年度～ 令和 6 年度の総括	・創業塾・創業セミナーの開催により創業機運の醸成を図るとともに、創業支援ネットワークと連携した創業者向け補助制度や低利な制度融資を設け、創業支援に取り組むことで、起業者数が順調に推移した。今後も関係機関と連携しながら、創業希望者のニーズを捉え、支援策の検討を進める。					
		・本市への本社機能の移転について、令和 3 年度に医療法人の移転が 1 件、令和 6 年度に民間企業の移転が 2 件あり、目標値を上回った。引き続き、企業誘致に取り組むとともに、既存の企業が野々市市で継続して事業を営むための支援策についても、今後検討していく必要がある。					
・観光物産協会や関係団体と連携しながら特産品のブランド化や地域産業の活性化を図り、当市の魅力の向上に取り組むとともに、効果的な P R 手段等の検討に取り組む。							
・先端設備を導入する中小企業に対し認定を行い、固定資産税の軽減などの支援を実施することで、市内中小企業の生産性向上と地域経済の活性化を図ることができた。今後も支援に繋がるよう制度の周知に努める。							

基本戦略2 ひとの流れを創る～安心して暮らせる環境づくり～

【施策2－1】 多様な働き方の確立		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価	
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度		
	ワーク・ライフ・バランス登録企業数	9社	12社	10社	目標を達成または大幅に上回る	
	市の創業支援に基づく学生・女性の起業者数（累計）	—	60人	30人	目標を達成または大幅に上回る	
	女性の就業率《国勢調査》	54.7%（H27）	56.1%	56.0%	目標を達成または大幅に上回る	
	高齢者の就業率《国勢調査》	24.6%（H27）	28.5%	26.0%	目標を達成または大幅に上回る	
【施策2－2】 野々市らしい暮らしの実現		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価	
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度		
	出生数	609人	484人	612人	目標との差が見られ、改善の検討が必要	
	待機児童数	0人	0人	0人	目標を達成または大幅に上回る	
	平均自立期間	男79.8年、女85.2年	男81.1年、女84.9年	男80.3年、女85.7年	目標をおおむね達成	
【施策2－3】 移住・定住の促進		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価	
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度		
	市内大学卒業生の県内就職率	—	22.7%	20.5%	目標を達成または大幅に上回る	
	市の支援制度を利用して移住した人数（累計）	—	34人	5人	目標を達成または大幅に上回る	
基本戦略2 ひとの流れを創る ～安心して暮らせる環境づくり～					施策2－1の評価	目標を達成または大幅に上回る
					施策2－2の評価	一部達成・成果向上に向けた検討の余地あり
					施策2－3の評価	目標を達成または大幅に上回る
基本戦略2 令和2年度～令和6年度の総括		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価	
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度		
	自然増減数	1,184人増（H27～30）	583人増（R6年度34）	800人増（R2から5年間）	一部達成・成果向上に向けた検討の余地あり	
	社会増減数	132人増（H27～30）	761人増（R6年度276）	200人増（R2から5年間）	目標を達成または大幅に上回る	
	合計特殊出生率	1.69（H20～24）	1.62	1.85	目標をおおむね達成	
基本戦略2 令和2年度～令和6年度の総括	・各種創業支援制度の実施や移住支援金、中高年齢者向け職業訓練奨励金の交付により、若者や女性の創業促進、新たな働き方を始める移住者への支援、中高年齢者の多様な就労機会の創出など、幅広い世代に対して多様な働き方を実現する環境づくりを推進した。今後も、子育て支援制度の充実を図りながら、企業誘致等による雇用の創出を進め、誰もが働きやすい環境の整備と多様な働き方の促進に向けて取り組む。					
	・子育て世代に係る経済的負担の軽減とした子ども医療費等の支援や、保育園での待機児童ゼロの維持、放課後児童クラブの整備促進により、安心して働きながら子育てができる環境整備を進めることができた。引き続き、結婚・妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を強化し、子育て施策の充実に取り組む。					
	・移住支援金の活用、石川中央都市圏の市町と連携した移住イベントへの出展やPR動画作成による情報発信など、多様な取組を展開した結果、移住・定住の促進につながり、社会増減数の目標を達成することができた。今後も、近隣市町や関係機関との連携を図りながら、若い世代の移住・定住の促進に向けた取組を継続して進めていく。					

基本戦略3 魅力的なまちを創る～ 地域・広域連携によるまちづくり～

【施策3－1】 生活基盤の維持と発展		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度	
	アダプトプログラム締結団体数	43団体	49団体	52団体	一部達成・成果向上に向けた検討の余地あり
	コミュニティバス利用者数	214,742 人/年	180,743人/年	230,000人/年	目標との差が見られ、改善の検討が必要
	住民主体の通いの場の活動支援数	31箇所	37箇所	46箇所	目標をおおむね達成
【施策3－2】 安心な暮らしの確保		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度	
	地区包括支援センター相談件数	601件	1,651件	1,000件	目標を達成または大幅に上回る
	認知症サポーター数	4,541人	5,548人	6,200人	目標をおおむね達成
	避難行動要支援者の避難訓練実施町内会数	2町内会	6町内会	10町内会	目標との差が見られ、改善の検討が必要
【施策3－3】 ふるさとづくりの推進		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度	
	市ホームページの総レビュー数	2,152,759	2,555,964	2,450,000	目標を達成または大幅に上回る
	市内のNPO法人組織数	9団体	13団体	13団体	目標を達成または大幅に上回る
	野々市会の会員数	71人	43人	100人	目標との差が見られ、改善の検討が必要
【施策3－4】 石川中央都市圏の発展		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度	
	石川中央都市圏における個別事業数	62事業	99事業	70事業	目標を達成または大幅に上回る
	高等教育機関との連携事業数	138件	127件	148件	目標をおおむね達成
基本戦略3 魅力的なまちを創る ～地域・広域連携によるまちづくり～		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標(KPI)の評価
	【重要業績評価指標(KPI)】	H30年度	R6年度	R6年度	
	住民主体の通いの場	41箇所	37箇所	46箇所	目標をおおむね達成
	ふるさと納税件数（累計）	—	9,245件	150件	目標を達成または大幅に上回る
	基本戦略3 令和2年度～ 令和6年度の総括	・快適で魅力的な市街地と良好な住環境を確保するため、土地区画整理事業や公園・緑地の維持管理に努めるとともに、関係機関と協議し、鉄道や路線バスの乗り継ぎを考慮したダイヤ編成により地域公共交通の利便性向上に取り組んだ。今後も近隣市町や関係機関と連携を図り、都市基盤と公共交通の維持・発展に向けて取り組みを進める。			
・地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくりに向けて、地域包括支援センターの普及を図り、相談件数の増加につなげることができた。一方で、住民主体の通いの場については、活動団体の減少が課題となっており、活動支援の継続と併せて、場所の確保やリーダー育成等に向けて検討を進める。また、老人クラブや健康クラブ等の高齢者で組織する団体の活動支援等を通じて、地域における人と人とのつながりの強化や生きがいのづくりの推進に向けて取り組みを進める。					
・市内大学との連携により大学生が地域課題解決に取り組む機会を創出し、若い世代の市民協働のまちづくりに向けた意識の醸成を図ることができた。また、市公式LINEではクーポン配信を通じて登録者数が増加し、市に対する親しみや愛着を高めるきっかけをつくることができた。今後も当市に対する愛着や誇りを高めてもらうための取り組みを推進するとともに、市民協働のまちづくりや関係人口の拡大に向けて、関係機関等と連携を図りながら取組を推進する。					

横断的な戦略 新しい時代の流れを力にする

【施策 1】 デジタル技術の活用		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標 (KPI) の評価	施策 1 の評価 目標をおおむね達成	
	【重要業績評価指標 (KPI)】	R4年度	R6年度	R6年度、R9年度			
	電子申請システムによる電子申請対応手続き数 (R6年度)	—	225	50 (R6年度)	目標を達成または大幅に上回る		
	デジタル技術も活用し相談援助等を行う こども家庭センターの設置 (R9年度※)	未設置	未設置	設置済 (R9年度※)	一部達成・成果向上に向けた 検討の余地あり		
【施策 2】 SDGs の推進		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標 (KPI) の評価	施策 2 の評価 目標を達成または 大幅に上回る	
	【重要業績評価指標 (KPI)】	R4年度	R6年度	R6年度			
	SDGsゲーミフィケーション教材を授業で導入した学校数	1校	4校	4校	目標を達成または大幅に上回る		
横断的な戦略 新しい時代の流れを 力にする						施策 1 の評価 施策 2 の評価	横断的な戦略の評価 目標をおおむね達成
						目標をおおむね達成 目標を達成または大幅に上回る	
		基準値	実績値	目標値	重要業績評価指標 (KPI) の評価		
	【重要業績評価指標 (KPI)】	R4年度	R6年度	R6年度、R9年度			
	デジタル実装に取り組む地方公共団体 (R9年度※)	未実装	実装済	実装済 (R9年度※)	目標を達成または大幅に上回る		
市内大学卒業生の県内就職率 (R6年度)	19. 0%	22. 7%	20. 5% (R6年度)	目標を達成または大幅に上回る			
横断的な戦略 令和 2 年度～ 令和 6 年度の総括	(※印の指標・目標年度は国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の KPI・目標年度と調和を図ったもの)						
	・ IT人材育成研修の受講費補助制度の創設や、企業PR動画の制作費補助制度の実施により、中小企業のデジタル（技術）活用及び人材確保の促進を図ることができた。今後も、市内企業のデジタル技術の利活用の促進をはじめ、地域産業の持続的な発展に向けた取組を継続していく。						
	・ 子育て分野におけるデジタル技術の活用として、園児の登降園管理や保護者との情報共有を可能にするシステムを導入・活用したことにより、保育現場における業務の効率化を図るとともに、保護者の利便性向上及び負担軽減につなげることができた。今後も、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の実現に向け、デジタル技術の活用に向けた検討を進めていく。						
	・ 令和 4 年度に、デジタル分野に知見を有する企業と包括連携協定を締結し、デジタル技術の活用や導入検討、人材育成に取り組んだことにより、官民連携により D X の推進を着実に進めることができた。今後も引き続き、官民連携によるDXの推進を図り、業務の効率化や市民の利便性向上を目指す。						
	・ 令和 5 年度に S D G s 未来都市に選定されたことを契機に、若者が多い市の特長を活かし、市内大学と連携して、児童生徒をはじめ、広く市民を対象に S D G s のゲーム教材を用いた事業を実施するなど、S D G s 推進や市への愛着心の醸成に向けた取組を進めた。今後も、若者の参画を促進しながら、市民協働により、持続可能なまちづくりに取り組む。						